

サトイモの定植スタート

小千谷里芋栽培組合

高品質生産へ 1650タ-目指す



自己
改革

食・農・暮らしの応援団
JA 越後おぢや

所得増大へ 移植機・高畝整形機 貸し出し利用料金を値下げ

栽培組合の定植は、9月下旬から10月下旬の収穫に合わせて行うもので、今年産の定植時期は平年通りです。

5月22日には、農事組合法人「うちがまき絆」が、移植機と高畝整形機を使い、一日で、内ヶ巻地区の圃場約30haにサトイモの種を植え付けました。

今年度は、生産者8人がサトイモの生産に取り組み、総出荷量は1650t(1t5kg)を目指します。

JA 越後おぢやは、農業者の所得増大と農業生産の拡大の実現を目指しています。今年度は、JA自己改革の着実な実践に向け、移植機と高畝整形機の貸し出し利用料金の値下げを行っています。

機械化による作業負担の軽減と、省力化による生産拡大を支援しています。

5月上旬には、JAのサトイモ生産組織「小千谷里芋栽培組合」が、市内の圃場で移植機と高畝整形機を使ったサトイモの定植作業をスタートさせました。サトイモはJAが重点品目として推奨し、生産者へ提案している品目の一つです。

栽培組合の定植は、9月下旬から10月下旬の収穫に合わせて行うもので、今年産の定植時期は平年通りです。

5月22日には、農事組合法人「うちがまき絆」が、移植機と高畝整形機を使い、一日で、内ヶ巻地区の圃場約30haにサトイモの種を植え付けました。

今年度は、生産者8人がサトイモの生産に取り組み、総出荷量は1650t(1t5kg)を目指します。

【全体運】プライベートの充実に意識を向けるとグッド。やるべき作業を早めに片付けて、好きなことや趣味に打ち込んで

【健康運】小まめなストレス解消を。笑顔に効果大
【幸運の食べ物】スズキ